



いぶき 第90号
 発行者 吉野公博
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<https://www.kagawah.johas.go.jp>



外観

がん診療棟のご紹介

副院長 國土 泰孝

がん診療棟1階には放射線治療科、2階にはがん総合診療センター(緩和ケアセンター)、がんゲノム医療センター、がん相談支援センター、がんサロン、がん情報

報コーナー)があります。1階にはVarian社製高精度放射線治療システム(TrueBeam)が設置され、より精密な放射線治療が可能となりました。



1階受付



2階受付

お気軽にお立ち寄りください!

を活用していただき、地域の中で納得のいくがん治療が受けられるように願っています。

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
 安全で安心のよりよい
 医療と看護を提供します

2階のがん診療センターの中は静かで、ゆっくり情報コーナーの資料を見ていただけます。また、がんサロン開催日には趣向をこらした催し物があり、ピアサポーターの方が来院されることもあります。お城が見える個室でがん相談もでき、リラクセスした環境で相談できます。

緩和ケア外来とがんゲノム外来の診察室もあり、緩和ケアでのお困り事やがん遺伝子パネル検査の希望がある患者様に対応させていただきます。

患者様やご家族、地域の先生方にご来院の機能

がんゲノム医療について

副院長 滝本 秀隆

私たちの体を構成する細胞は約2万個の遺伝子をもっており、遺伝子は私たちの体の設計図に相当します。遺伝子はDNAと呼ばれる物質で出来ており、遺伝子と遺伝子以外の部分も含めたDNA全体の情報をゲノムと呼んでいます。医学の進歩によりその遺伝子が、紫外線や放射線、化学物質や加齢などにより、異常が積み重なることによってがんが生じることが分かってきます。一口にがんと言っても、がん細胞に生じている遺伝子の異常は患者さん一人ひとりで異なっています。

す。がんゲノム医療とはがん細胞で生じている遺伝子の変化を網羅的に調べて、その患者さんにとって最適な治療の選択肢を見つけていくことが目的になっています。この分野はまだ発展途上で、がんゲノム医療を受けたとしても新たな治療の選択肢が見つかるとは限りませんが、まだまだ少ないのですが、新しい医療のあり方として注目されています。検査には時間と費用がかかります。適応となる疾患や病状も限られています。当院ではがん診療棟においてこのがんゲノム医療に取り組んでいます。



四季の植物 **ダリア(テンジクボタン)**
キク科・ダリア属

西4病棟看護師・高橋希巳江

中央アメリカ原産(メキシコの国花)、花期は5～11月。別名の天竺(昔のインドの呼び名)牡丹は花の形が牡丹に似ているから。花言葉は【優雅・気品・栄華】等、6月5日、7月29日、9月10・15・24日の誕生花です。

当院における高精度放射線治療について

緩和ケア科第 部長(放射線治療専門医) 木下 敏史

放射線治療は病巣に放射線を照射することでがん等を治療する方法で、手術や薬物療法とならぶ「がんの3大治療法」の一つとされています。現在、世界では癌患者さんの半数以上、日本でも多くの患者さんが受けている治療です。当院ではがん診療棟の開設に伴い高精度放射線治療が行える機器(Varian社 True beam、RAINLAB社 ExacTrac、ユーロメディテック社 AlignRT)が導入されました。機器更新により、腫瘍の形状に合わせ照射する形や強さを変えて、病巣に近接する正常な重要臓器を避けることができる強度変調放射線治療(IMRT)や、病巣に対し多方向から放射線を集中させる定位放射線治療(SRT)いわゆるピンポイント照射)がより多くの患者さんに提供できる体制になりました。IMRTは頭頸部癌や



前立腺癌を主に多くのがんに適応が広がり、唾液腺障害や直腸出血等の副作用の軽減ができ、SRTも脳転移におけるピンポイント照射のみならず早期肺癌などにも治療の幅の拡大に期待ができます。また高解像度カメラを使用し皮膚表面を

スキャンして三次元的に位置合わせを行うことも可能になり、乳がん術後の照射では心臓への被ばく線量を減らし、将来の虚血性心疾患等の副作用低減も期待されています。今後このような機器、技術を使い、患者さんにさらにやさしく、有益になる治療を進めていく予定です。何か気になること等ございましたらお気軽にお尋ねください。

緩和ケアについて

がん看護専門看護師 石原 亜美

緩和ケアとは、病気に伴う痛みなどの身体症状やこころのつらさを和らげるためのケアのことです。緩和ケアは、がんが診断されたときから治療と同時にスタートすることが推進されています。治療と並行して進めることにより、痛み・倦怠感・吐き気といった治療に伴う症状緩和がされ、患者さんがより積極的に治療に取り組むことができると考えられています。

緩和ケアでおこなわれる医療やケアには次のようなものがあります。

- 病気についての理解を促し、治療法の選択を助ける
- 痛みや治療の副作用などつらい症状を和らげる

がん相談支援センターご利用のすすめ

医療ソーシャルワーカー 黒田 志乃

がんが診断されると頭が真っ白になり、そして、様々な不安や悩みが出てくると思います。そんな時、一人で考えるのではなく、私たち相談員にぜひお声かけください。お話を伺う中で、少しでもいい方法を共に考えながら探していきます。ご相談内容に応じて看護師や薬剤師、公認心理師など

多職種が、より専門的な相談対応を行っております。例えば、入院したものの、どのくらい医療費がかかるんだろう、障害が残ったらどうやって生活したらいいの、介護が必要になったら、自宅で生活できるだろうか、まだリハビリや療養が必要そうだけど転院する先はあるのかなあ、まわりに頼れ

- 日常生活を維持するための工夫をする
 - 病気に伴う不安や心配な気持ちを軽減する
 - 療養環境を整える
- 緩和ケアは、がん治療を充実させる大切なケアです。当院では緩和ケアチーム、がん看護関連の認定・専門看護師がおり、主治医や看護師とともに支援しています。お困りのことがあればご相談ください。

る人がいない・・・そんな時は私たち医療ソーシャルワーカーがご相談に応じます。必要に応じて、高額療養費制度などの医療保険、年金制度、介護保険、その他の福祉制度などの活用も検討します。

「あのーすみません、ちよつといいですか？」とお気軽に、私たちにご相談ください。



がん相談支援センターからのご案内

がん看護専門看護師 岩田 尚子

この度、がん診療棟2階に相談室、がんサロンスペース、がん情報コーナーが設置されました。丸亀城が見える相談室は、明るい雰囲気個室でがん相談員がお話を伺います。がんサロンスペースは、がんサロンやがん相談の日など、どなたでも気軽に参加できる催しを定期的に開催します。

がん情報コーナーは、がんに関するパンフレットや患者さん向け診療ガイドライン、子供への病気の伝え方の絵本など、自由に閲覧できます。その他、がん検診の案内や相談者からの声を

もとに食事や栄養に関する冊子もご用意しました。がん患者さんやご家族など、訪問された方が欲しい情報を手に入れやすいように準備しましたので、ぜひ、お立ち寄りください。

また、がんの治療や症状とのつきあい方など、あなたの困りごとについての相談は随時受け付けています。がん相談支援センターの受付(平日8時15分～17時まで)は、1階地域連携・患者サポートセンターにありますので、お気軽にお声かけください。



がん情報コーナー



相談室



がんサロンスペース

連載 8

中西讃の歴史点描

有明浜の銭形砂絵はいつ作られたのか

香川大学名誉教授 田中健一

観音寺市といえば、寛永通宝の砂絵で有名です。財田川河口近くの琴弾山とその西側に広がる有明浜は、明治三〇年に香川県立琴弾公園として開設され、昭和十一年には国の名勝に指定されました。香川県教育委員編『香川県の文化財』によれば、白砂清松の松原の中ほどに、砂浜に描かれた東西一二メートル、南北九〇メートル、周囲三四五メートルの楕円形の銭形砂絵が掘られています。琴弾山西方の象ヶ鼻の展望台から見ると、円形に見える寛永通宝の銭形です。真円で描くと南北方向の楕円に見えるため、東西に長い楕円としたわけです。



図9

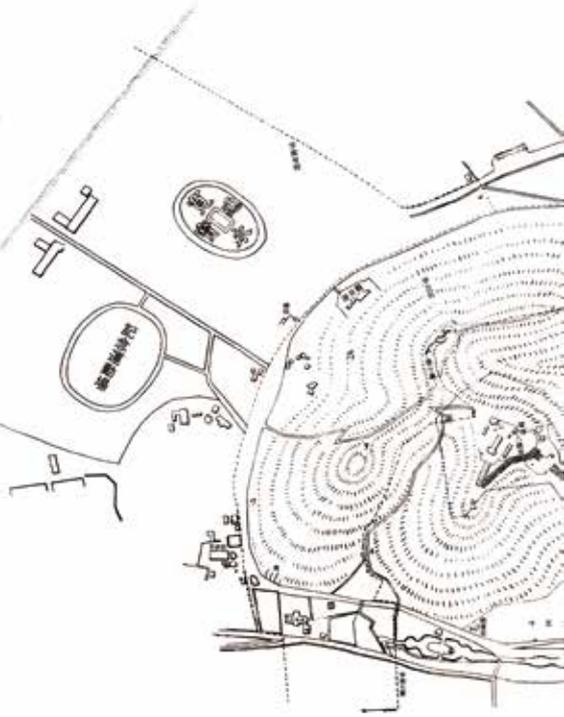


図10

この砂絵がいつ、だれによって、なんのために作られたのか、定説はありません。昭和六一年刊行の『観音寺市誌 通史編』には、
①寛永一〇年(一六三三)、

当時讃岐一国の大名であった生駒高俊の領内巡視のときに、村人たちが藩主に見せるために作ったとの説、
②文化十一年(一八一四)、丸亀藩の藩主京極高朗(たかあきら)の領内巡視のとき村人が作ったとの説、
③幕末に有明浜に台場(砲台)を築いた際に視察に来た藩主京極朗徹(あきゆき)を楽しませるために普請奉行が作ったとの三つの説が掲げら

れています。これらの諸説のうち、①説については、寛永通宝は寛永一三年に鑄造が始まったこと、②説については、昭和四年刊行の『増補西讃府志』に収められている高朗の巡行日誌「巡封陽秋」(文化十一年)には、有明浜の景観をめで、近年開墾のころみをやめたことが記されているのみで銭形には触れていないことにより否定されます。③説に

ついては以下で検討します。それでは、銭形砂絵が記録に初めて現れるのはいつのことでしょうか。まず、江戸時代に編さんされた地誌を見えます。次に掲げる【図9】は、弘化四年(一八四七)に刊行された『金毘羅参詣名所図会』(香川県立図書館デジタルライブラリー)の巻之三の挿図有明浜から作成した部分写真です。図の右端に見える「象ノ鼻」が現在銭形砂絵の展望台があるところです。地引網を引いている人たちと象ノ鼻との間の松林付近に砂絵がなければなりません。近代に入ります。『観音寺市誌 通史編』によれば、琴弾公園は明治三二年一月に竣工し開園式が行われたとのことです。この開園と関わり、興味ある記事が、昭和六二年刊行の観音寺市経済部商工観光課編『銭形

の謎』に見えています。それは第一回銭形シンポジウムのパネラーの一人、琴弾八幡宮宮司和田義夫氏の報告の中で、明治三三年の絵葉書に寛永通宝の銭形が描かれており、下の説明に「琴弾公園、象ヶ鼻の巖頭より、有明の奇観、砂上古銭を見るの景」と見えるとのご発言です。

時期からみて、右の絵葉書は琴弾公園の開園を記念して作られたものと思われる

ます。この絵葉書とみられる写真が、観音寺市文化財協会発向の『写真集 ふるさと観音寺』に掲載されています。この写真については元観音寺市立中央公民館長の久保田昇三氏にご教示

いただきました。この絵葉書が銭形砂絵についての最初の記録と思われる。

昭和四年、香川県は『史跡名勝天然記念物調査報告』第四を刊行しています。そのなかの史跡名勝の部に琴弾公園が掲げられています。現況として、有明浜、浴日館を記したあとに、「其他の施設」として次の記事

載せています。寛永通宝形 有明浜白砂の上に描きたる一大銭形にして琴弾山眺望の一異彩なり。これ往昔丸亀藩主京極氏来遊の時、仮屋の漁民がこれをつくり、観覧に供せしに始まるといふ。

公会堂、博物館、トラ

田中健二氏プロフィール



田中健二さんは、香川大学名誉教授で、専門は日本中近世史です。多年にわたって香川県文化財保護審議会の委員を務められ、教育文化功労者として令和元年に県知事表彰をうけていらつしやいます。

ック、海水浴場、茶亭、売店

右の報告書の付図から作った部分写図が前に掲げた【図10】です。寛永通宝の銭形砂絵と並んで記念運動場(トラック)が描かれています。現在、有明グラウンド(琴弾公園多目的広場)があるところです。少し横道にそれますが、この記念運動場について調べてみます。



図11

『写真集 ふるさと観音寺』

には、大正三年刊行の「観音寺町明細地図」が掲載されています。有明浜に銭形砂絵は見えますが、トラックはありません。初めて見えるのは、国土地理院の旧版地図五万分一地形図観音寺(昭和三年修正)です。【図11】に見えますように、有明浜南部に円形の構造物がある

ります。付図の記念運動場の位置に当たります。

前掲の写真集には、大正一一年、三豊郡北部で行われた陸軍特別大演習に際し、統監の摂政宮(昭和天皇)が有明浜にご来観なさったときの写真が載っています。記念運動場はこの出来事を記念して、大正年間に造られたものではないでしょうか。

大正一〇年刊行の『三豊郡史』には、銭形砂絵の由来について次のように記されています。この記事が、『観音寺市誌 通史編』の③説の論拠です。

現今琴弾公園の一奇観として有明浜白砂中直径六十歩(ほぼ一〇九メートル)の寛永通宝は、京極朗徹の寛永通宝のため実地視察として臨場の際、藩主の一興に供せんがため普請奉行指揮の下に人夫を督して経営したるものなりといふ。

始まるとの伝承があったことがわかります。

『三豊郡史』は、安政二年(一八五五)、丸亀藩が海岸防衛のため、寺院の梵鐘を供出させて大砲・小銃を鋳造したこと、台場を荘内半島と有明浜に築いたことを記していますが、台場築造の年は明記していません。『観音寺市誌 通史編』によれば、台場跡の石柱が讃岐煉瓦会社の裏にあるとのことで、有明浜に台場が築かれたことは間違いありません。

『三豊郡史』によれば、藩主朗徹は、元治元年(一八六四)五月に領内を巡見した際、仁尾の父母峠から室本を経て観音寺へ入り昼食をとっています。このとき、台場築造のための現地視察が行われたのではないのでしょうか。ちなみに高松藩が屋島の長崎鼻をはじめ領内各地に台場を築いたのは、この前年のことです(『新編丸亀市史2近世』)。この視察に際し、藩主を楽しませるために銭形砂絵が作られたと推測します。

| 開催日 | 内容 | 講師 |
|---------------|--------------------------|-----------------------------|
| 11月22日 (水) | 楽しく、おいしく 食べるための準備体操！ | 摂食・嚥下障害特定認定 看護師 直原 裕子 |
| 1月24日 (水) | 無理なく続けよう！ 運動療法のコツ | 糖尿病ケア特定認定 看護師 西原 環 |
| 2月28日 (水) | 今すぐはじめられる 「尿失禁トレーニング」 | 皮膚・排泄ケア特定認定 看護師 松永 希 |
| 3月27日 (水) | いきいき「脳トレーニング」 | 認知症看護特定認定 看護師 吉川 明美 |

最近、体力と気力の衰えを「年のせいだから」と思っ
て過ごしていませんか？
周りとのコミュニケーション
は少なくなっていませんか？
か？もしかしたら、もうす
でにフレイルの状態となっ
ている可能性があります。

より健康な生活を目指して、
まずはフレイル予防教室で
簡単に取り組める体操を、
みんなと一緒に楽しくはじ
めてみませんか？
皆様のご参加をお待ちし
ております。

フレイル予防教室についてお知らせ

皮膚・排泄ケア特定認定看護師 本村 香代子

※フレイルとは、健康な状態と要介護状態の中間の段階を指します。
出典：広報誌『厚生労働』2021年11月号

9月から香川労災病院で
研修させていただいており



研修医 前田 真鍋 直人

新任医師紹介

西4病棟は、骨折などの骨・運動器疾患に病気を持つ方が多く入院される整形外科病棟です。日本は今、超高齢社会を迎え、骨粗鬆症で骨がもろくなることによる、大腿骨、手首、上腕骨、背骨の骨折をされる方が増加しています。その中でも大腿骨の骨折は寝たきりの原因となり、治療後の経過にも悪影響を及ぼすといわれています。当病棟ではそのような患者さまが、寝たきりとならないように

手術後、早期にリハビリテーションを開始するようにしています。

患者さまが疾患や受傷により、急な入院による日常生活の変化に対して、身体面のケアだけではなく、精神面のサポート行えるように心がけ、一日でも早く元の生活の戻れるように患者さまに寄り添った看護を提供できるように努めています。

部署紹介「西4病棟」

西4看護師長 西本 愛

まず、研修医の真鍋直人です。丸亀市出身で、大手前丸亀高等学校を卒業後、香川大学医学部に入學しました。卒業後は、香川大学病院とさぬき市民病院で研修しておりました。まだまだ未熟な私ですが、慣れ親しんだ丸亀に少しでも恩返しできるように頑張ります。よろしく願い致します。

編集だより

患者サービス向上委員
大林 美代子

夏が終わり、秋の涼しさを感じる季節となりました。

今回で香川大学名誉教授の田中健二さんの連載が最終回となり、丸亀城と城下町、香川県西部地域の歴史について興味深く読ませて頂きました。お忙しい中、快く連載を引き受けて下さりありがとうございます。今後のご活躍をお祈り申し上げます。

広報誌「いぶき」ではこれからも当院の取り組みなどお届けしていきます。ご意見、ご感想がありましたらお気軽にお寄せください。

